

ETK1623037A

取扱説明書

⚠ 安全にお使い頂くために

本製品は安全性を十分に考慮して設計しています。しかし、間違った使い方をすると、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守りください。

★光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。作業中は **安全メガネを着用** してください。

★コネクタ端面や光ファイバ端面を **のぞき込まない** てください。強い通信光が出ている場合があります、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんので十分注意してください。

★高所での作業の際には、組立工具を落とさぬ様にご注意ください。(リストストラップ等をご使用ください)

⚠ 必ずお読みください

①組立方法を誤ると本来の性能が得られない場合があります。**本説明書をよくお読みになって**からご使用ください。

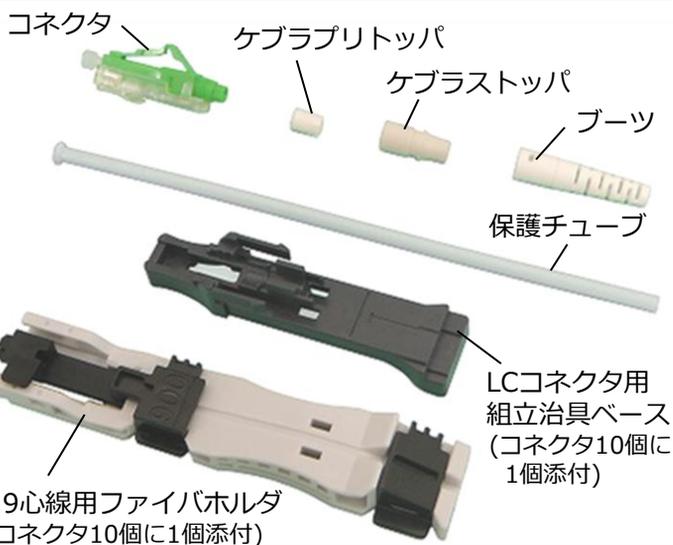
②本製品はチリ・ホコリが大敵です。コネクタはご使用の**直前に開封する**様お願いいたします。

③本製品は切断面により特性が大きく変わります。良好な切断特性を有するカッタを使用してください。

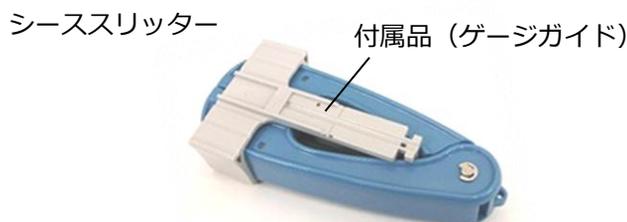
④コネクタへの**ファイバ挿入はゆっくり**と行ってください。乱雑に挿入した場合、ファイバが破損して工事不良につながる可能性があります。折れたファイバが飛散する恐れもあります。

⑤異物の混入による光損失増を防ぐため、ダストキャップはコネクタを**接続するまで外さない**てください。

⑥コネクタ内部には適量の屈折率整合剤を充填しております。コネクタへの**ファイバ挿入を2回以上行わない**てください。

構成品

本コネクタの組立には、上記構成品の他に工具が必要となります。予めご準備下さい。

必須工具**おすすめ組立工具**

1. ハンディ光ファイバカッタ 2. 精密ニッパ



3. ジャケットリムーバ (φ0.25/0.9mm心線の被覆が除去できるもの)



4. 可視光漏れ確認キット



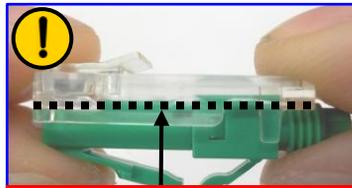
(住友推奨可視光源使用)

【お問い合わせ先】 住友電気工業株式会社 光機器事業部

TEL (045) 853-7225

FAX (045) 851-1286

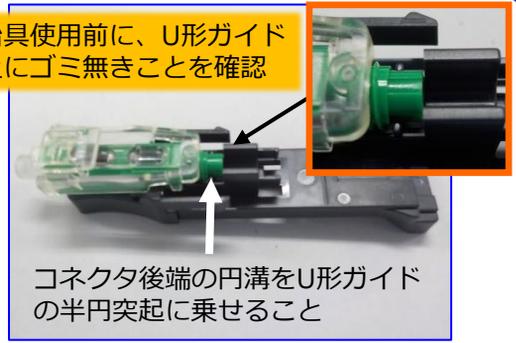
【1】コネクタ準備



クサビが隙間なく取り付け
てあることを確認する
※外れている場合は押し
て取り付ける

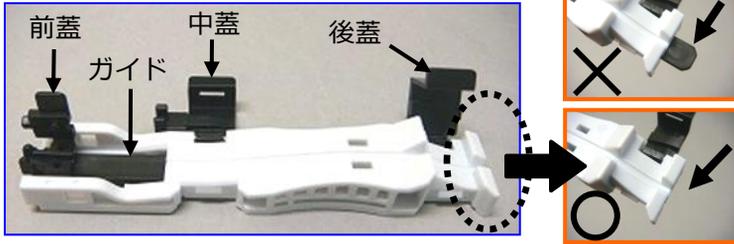
【2】コネクタを治具にセット

治具使用前に、U形ガイド
上にゴミ無きことを確認



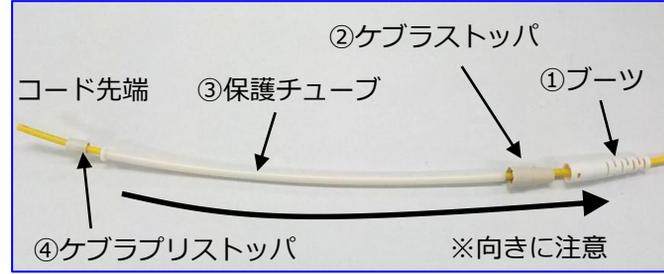
コネクタ後端の円溝をU形ガイド
の半円突起に乗せること

【3】ホルダの準備



ホルダ使用前に、前、中、後蓋を開けて、ガイド後端がホルダ本体
から出てないことを確認する。出ている場合はガイド後端を押し込む

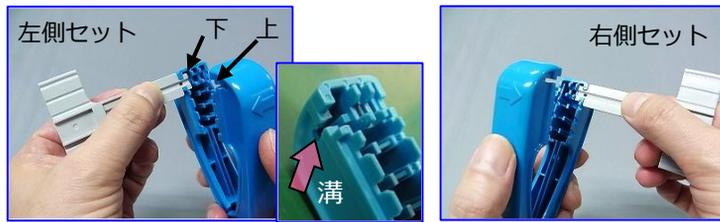
【4】光コードに部品を通す（番号順に挿入する）



※向きに注意

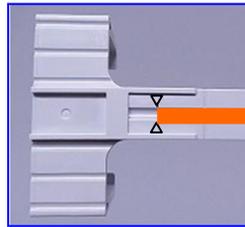
【5】シースの除去

①ゲージガイドをシーススリッター（溝）にセットする

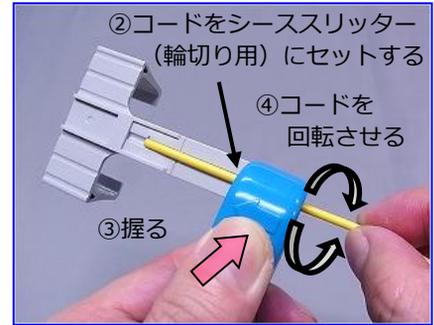


ゲージガイドは上下に取り付け可能です。上下切り替えることで
セット方向が利き手に応じて左右に切り替わります

コード先端セット位置



△マークに
合わせてください



【6】ケブラを引っ張る

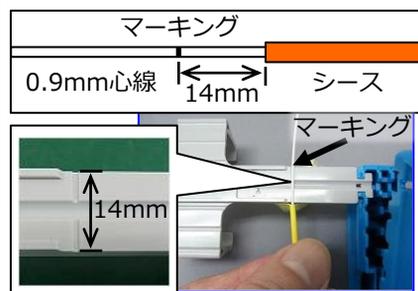


⑤シースを剥ぐ

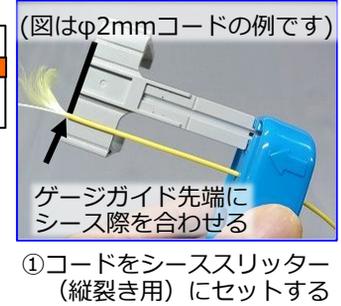


手間隔 50~70mm

【7】心線被覆除去位置にマーキングを施す

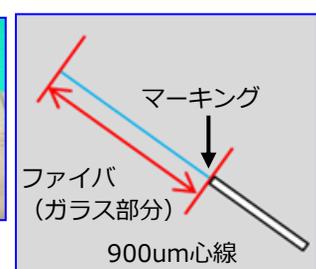
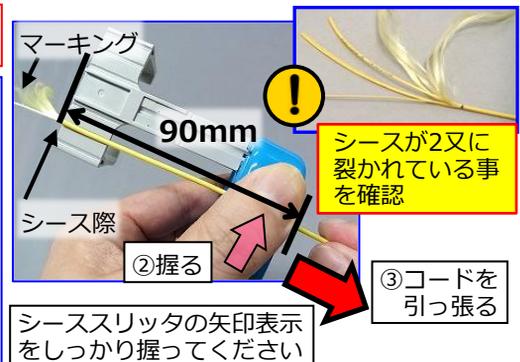


【8】シースを縦裂きする



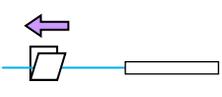
①コードをシーススリッター（縦裂き用）にセットする

【9】心線被覆の除去



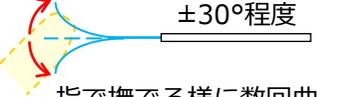
2~3回に分け、最後の1回が心線の
マーキング位置となるように被覆を除去する

【10】ファイバの清掃



ガーゼに無水アルコールを付け、円周方向に数回拭き被覆屑を取り除く

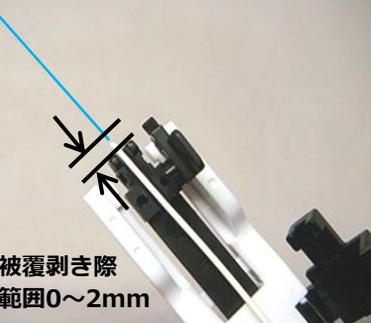
【11】スクリーニング



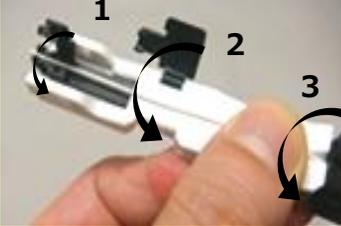
±30°程度
指で撫でる様に数回曲げて折れないことを確認
上
左 ← ○ → 右
下
折れた場合は [5] 項からやり直してください

【12】ホルダに心線セット

ファイバをホルダの溝に入れ、セットする



被覆剥き際 範囲0~2mm



1 2 3
ファイバが動かないように指で押さえて、前蓋、中蓋、後蓋の順に閉じる

【13】ファイバカット



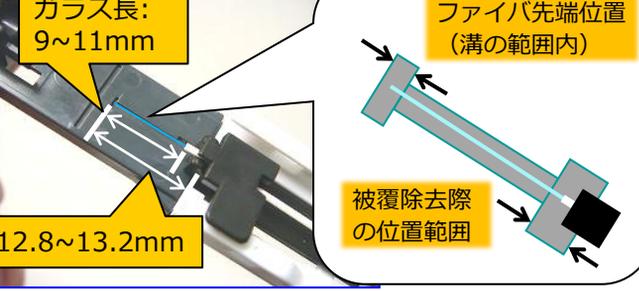
ファイバホルダ上にシースを乗せておくと以降作業し易くなります



④カバーを押す
①スライダを押し込む
②フォルダを乗せる
③ファイバホルダをしっかり突き当てる

※当社製FC-8R-MC使用の場合

【14】カット長の確認



ガラス長: 9~11mm
12.8~13.2mm
ファイバ先端位置 (溝の範囲内)
被覆除去際の位置範囲

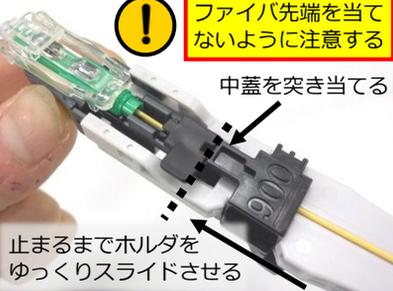
※寸法が合っていない場合は [5] 項からやり直す

【15】ファイバ挿入①



ホルダを治具上のセット線に合わせU溝にファイバを落とし込む

ファイバ挿入②



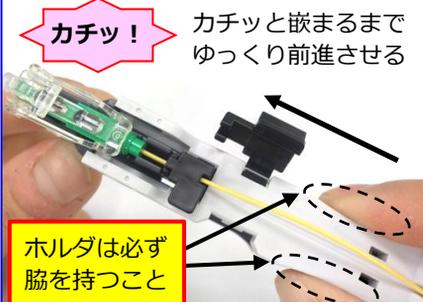
ファイバ先端を当たらないように注意する
中蓋を突き当てる
止まるまでホルダをゆっくりスライドさせる

ファイバ挿入③



中蓋を開ける
注意!
中蓋を開けないと、挿入ファイバと内蔵ファイバが突き当たらず、損失高となる恐れがあります

ファイバ挿入④



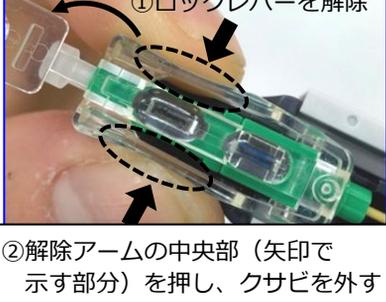
カチッ! カチッと嵌まるまでゆっくり前進させる
ホルダは必ず脇を持つこと

【16】ファイバのたわみを確認する



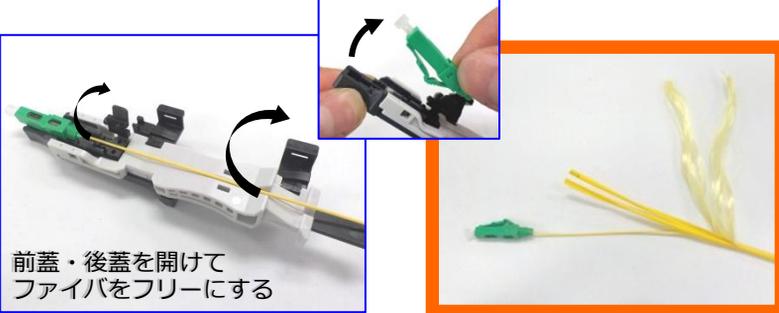
ファイバを押さえて持つと、たわまず強く押し込まれ過ぎ、内部で損傷する可能性があります
たわみがあることを確認

【17】クサビを取り外す



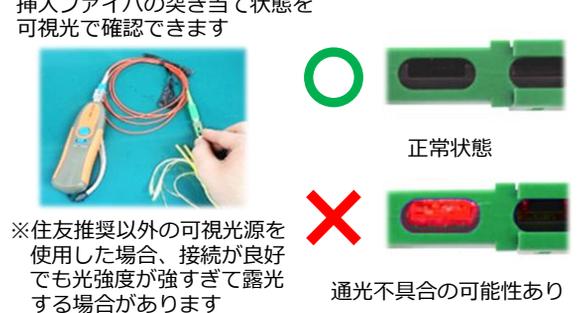
①ロックレバーを解除
②解除アームの中央部 (矢印で示す部分) を押し、クサビを外す

【18】コネクタを取り出す



前蓋・後蓋を開けてファイバをフリーにする

【19】可視光によるチェック



挿入ファイバの突き当て状態を可視光で確認できます
正常状態
※住友推奨以外の可視光源を使用した場合、接続が良好でも光強度が強すぎて露光する場合があります
透光不具合の可能性あり

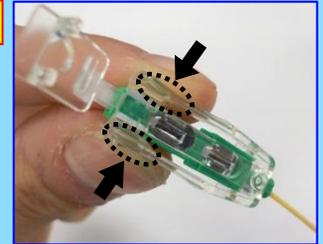
接続不良の場合

【1】再度コネクタにクサビを取り付ける

【2】挿入されたファイバを押し込み、再度たわみを作る

【3】たわみを保持したままクサビを外す

右の方法でファイバを再押し込みすることにより、接続面が適切に接触し改善する場合があります

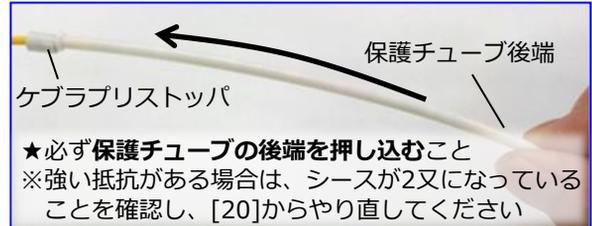
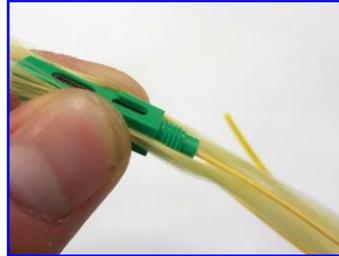
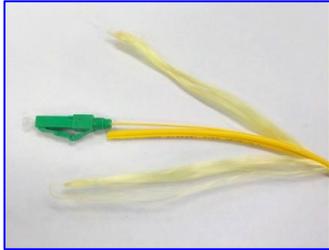


★重要：作業中はファイバがコネクタから抜けないように保持すること

【20】 ケブラを2分割する

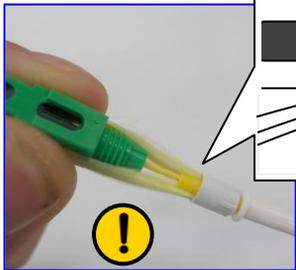
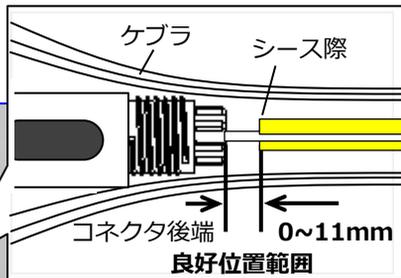
【21】 ケブラをコネクタに添わせるように抑える

【22】 保護チューブの後端をゆっくり押し込み ケブラプリストッパと保護チューブをコネクタに引き寄せる



★必ず保護チューブの後端を押し込むこと
※強い抵抗がある場合は、シースが2又になっていることを確認し、[20]からやり直してください

シース際の位置確認

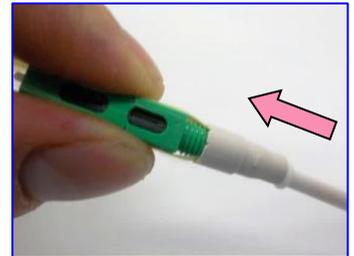


※シース際が長すぎる場合は切断ください
※シース際が短すぎる場合は廃却し最初からやり直してください

★シースは固定されません

【23】 ケブラプリストッパをコネクタ後端に嵌め込む

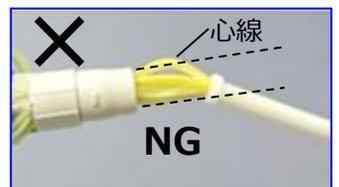
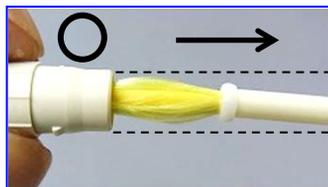
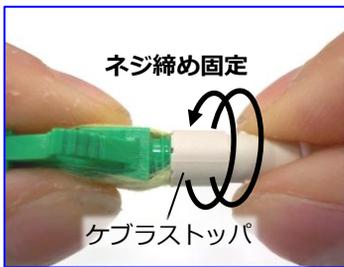
【24】 ケブラストッパをコネクタに引き寄せる



【25】 ケブラストッパを接続する

【26】 心線のたわみを確認

保護チューブを10mm程度引いて「心線のたわみ」を確認する



心線が点線より外にはみ出してないこと

※確認良好後は、保護チューブを再度ケブラストッパに寄せる (必ず保護チューブ後端を押し込んで実施のこと [22]参照)



ケブラを保護チューブの中でたませない、またネジ締め時にケブラが巻き込まれないように、ケブラをコネクタ横に添えてしっかり固定しながら実施ください

<NGの場合>
ケブラストッパを外して [20]項からやり直してください

【27】 ブーツ取り付け

【28】 ケブラ除去 (より美観をよくするコツ)

ケブラを引っ張りながら精密ニツパで根元を切断する

完成

